

# 現状調査 4

## 公共交通に関する現状調査

---

# 目次

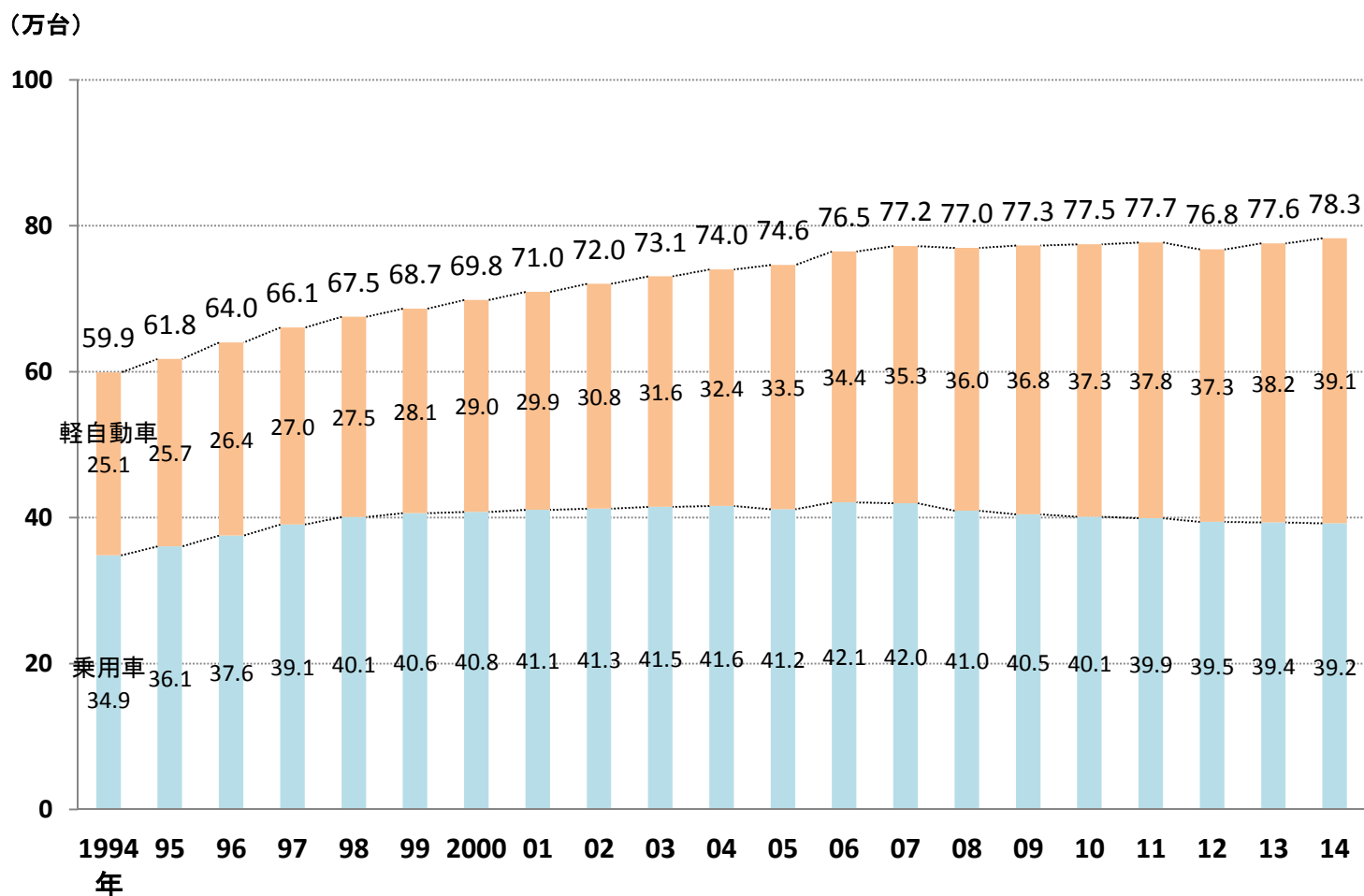
---

Contents	Page
I 岡山都市圏の交通概況	1
1. 自動車	2
2. 鉄道	4
3. 路線バス	9
4. 地域生活交通	11
II 岡山都市圏住民アンケート調査概要（公共交通）	13
1. アンケート調査の概要	14
2. 交通手段の利用状況	15
3. 路線バスについて	16
4. 地域生活交通について	18

## I - 1 . 自動車 【自動車保有状況の推移】

- 現在の岡山都市圏住民の基本的な交通手段となっている自動車保有台数は、乗用車と軽自動車合わせて78.3万台（2014年）であり、この20年で約30%増加している。
- うち乗用車については、2004年の41.6万台をピークに減少しており、2012年は39.2万台である。一方で、軽自動車は1994年の25.1万台から2012年の39.1万台へと約60%増加している。

### □ 岡山都市圏における自動車保有台数の推移

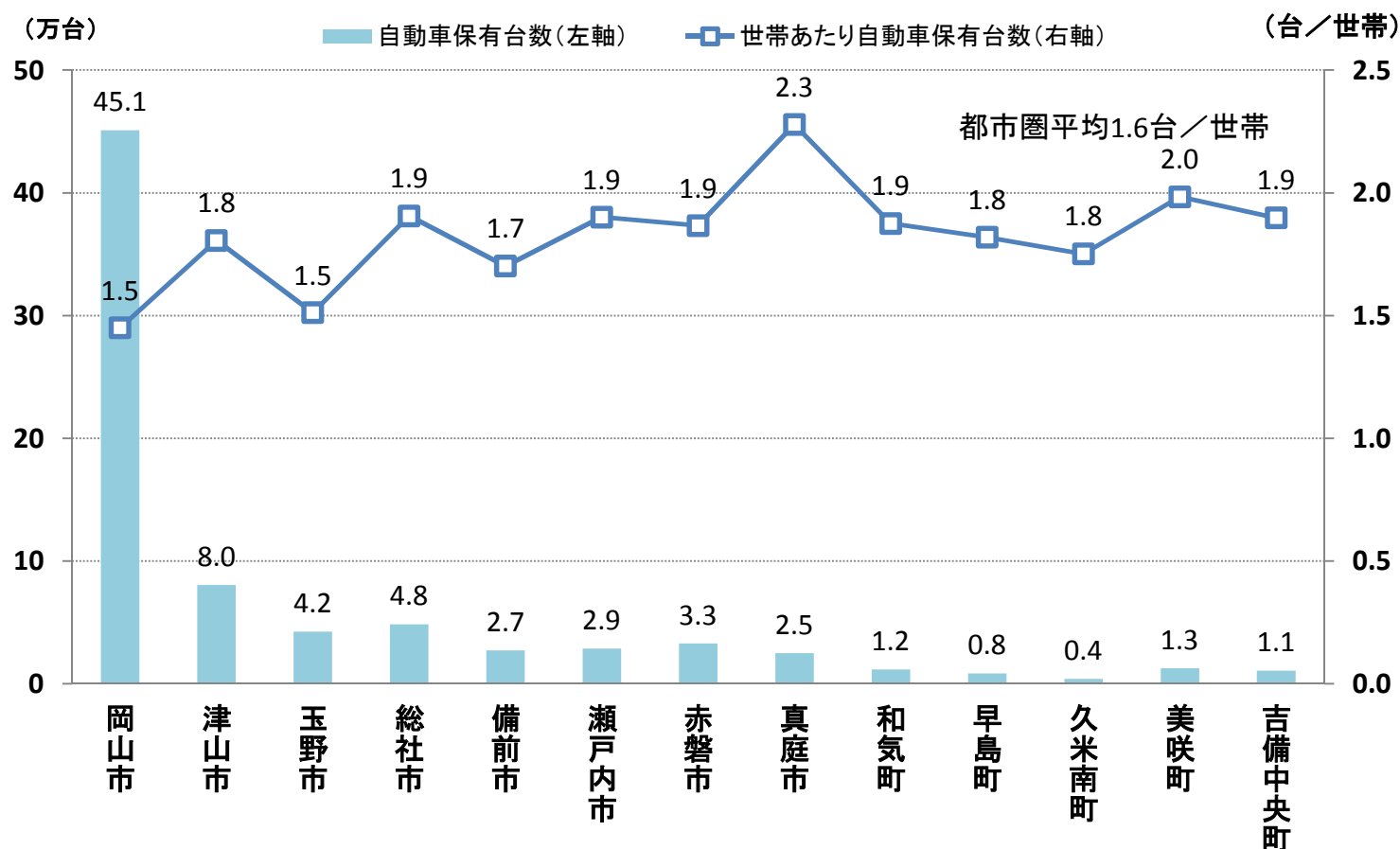


出所：自動車検査登録協力会及び全国軽自動車協会連合会資料、岡山県統計年報

## I - 1. 自動車 【都市圏内市町の自動車保有状況】

- 岡山都市圏の1世帯あたりの自動車保有台数（乗用車及び軽自動車）は1.6台である。この1.6台を下回っているのは岡山市と玉野市のみであり、その他の市町は平均を上回っている。特に真庭市・美咲町は2台を超える水準となっている。
- 岡山市や岡山市に近い沿岸部の地域では、公共交通が比較的充実していることから、平均的な保有台数が少なく、山間部が多い地域では、生活上不可欠な足として自動車が必要とされていることが背景にあるものと考えられる。

□ 岡山都市圏内の市町の自動車保有台数と1世帯あたりの自動車保有台数



## I - 2. 鉄道 【鉄道事業者の概要】

- 岡山都市圏における鉄道事業者は西日本旅客鉄道（株）（以下JR）と井原鉄道（株）の2社であり、JRは新幹線及び在来線9路線を運営しており、井原鉄道は井原線を運営している。

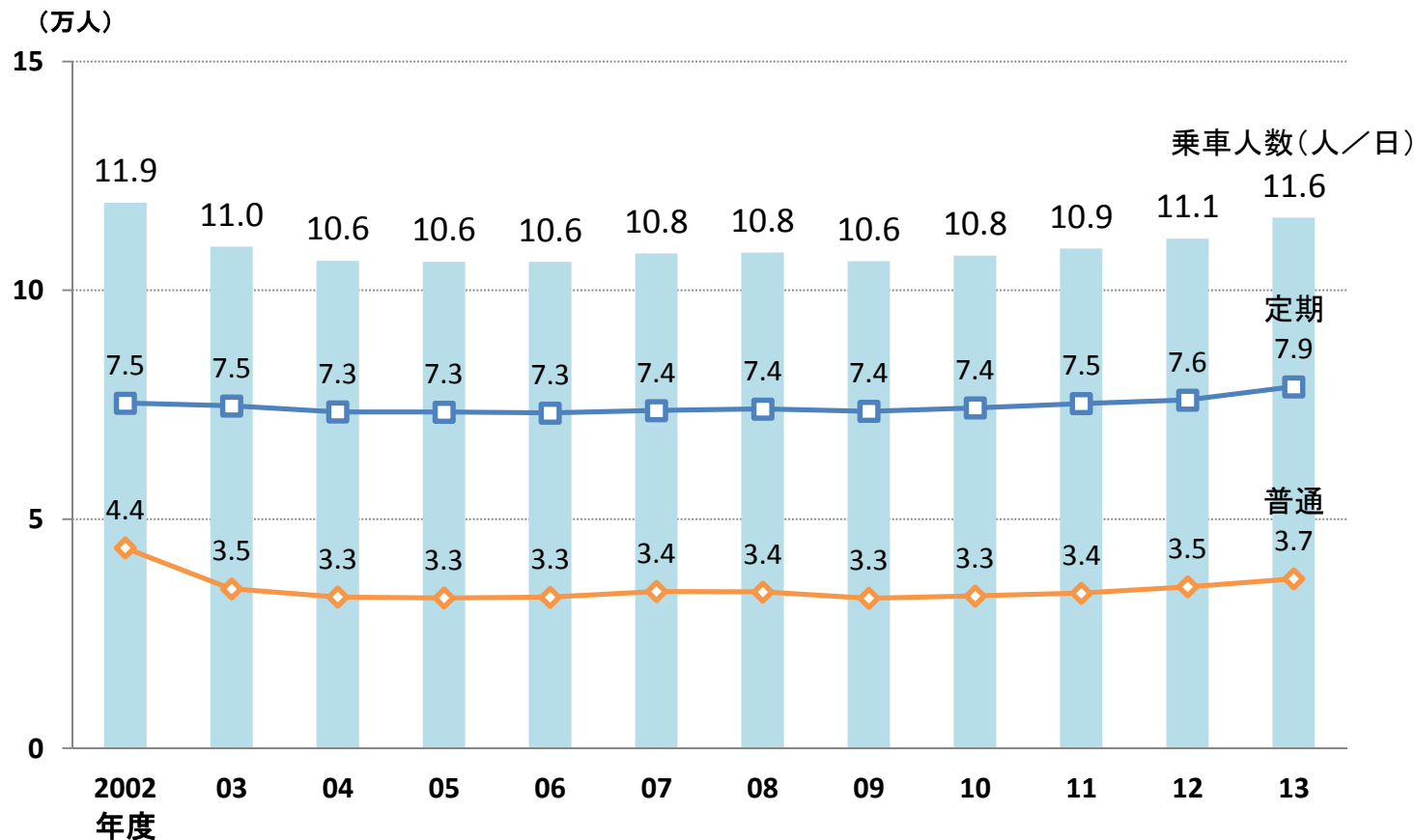
### □ 岡山都市圏における鉄道事業の概要

事業者名・路線名	区間	営業キロ	駅数	駅名
西日本旅客鉄道				
山陽新幹線			1	岡山(岡山市)
山陽線	三石～中庄	52.2	14	三石・吉永(備前市)、和気(和気町)、熊山(赤磐市)、万富・瀬戸・上道・東岡山・高島・西川原・岡山・北長瀬・庭瀬・中庄(岡山市)
姫新線	東津山～富原	55.4	12	東津山・津山・院庄・美作千代・坪井(津山市)、美作追分・美作落合・古見・久世・中国勝山・月田・富原(真庭市)
赤穂線	寒河～東岡山	37.8	13	寒河・日生・伊里・備前片上・西片上・伊部・香登(備前市)、長船・邑久・大富(瀬戸内市)、西大寺・大多羅・東岡山(岡山市)
津山線	岡山～津山	58.7	17	岡山・法界院・備前原・玉柏・牧山・野々口・金川・建部・福渡(岡山)、神目・弓削・誕生寺(久米南町)、小原・亀甲(美咲町)、佐良山・津山口・津山(津山市)
因美線	美作河井～東津山	22.3	6	美作河井・知和・美作加茂・三浦・美作滝尾・高野(津山市)
吉備線	岡山～総社	20.4	10	岡山・備前三門・大安寺・備前一宮・吉備津・備中高松・足守(岡山市)、服部・東総社・総社(総社市)
宇野線	岡山～宇野 (途中倉敷市含む)	32.8	14	岡山・大元・備前西市・妹尾・備中箕島(岡山市)、早島・久々原(早島町)、彦崎・備前片岡・迫川(岡山市)、常山・八浜・備前田井・宇野(玉野市)
伯備線	清音～美袋	15.4	5	清音・総社・豪渓・日羽・美袋(総社市)
本四備讃線		—	1	植松(岡山市)
井原鉄道				
井原線	総社～清音	3.4	2	総社・清音(総社市)

## I - 2. 鉄道 【JRの利用状況】

- 岡山都市圏内のJR81駅の1日当たりの乗車人員（路線の重複除く。新幹線乗車人員含まず）は、2013年度で11.6万人であり、うち7割が定期利用であり、残り3割が普通利用である。
- 定期・普通利用ともに2000年代は微減傾向にあったが、2010年以降は両者ともに微増傾向にあることから、乗車人数全体も増加傾向にある。

### □ 岡山都市圏内のJR乗車人員の推移



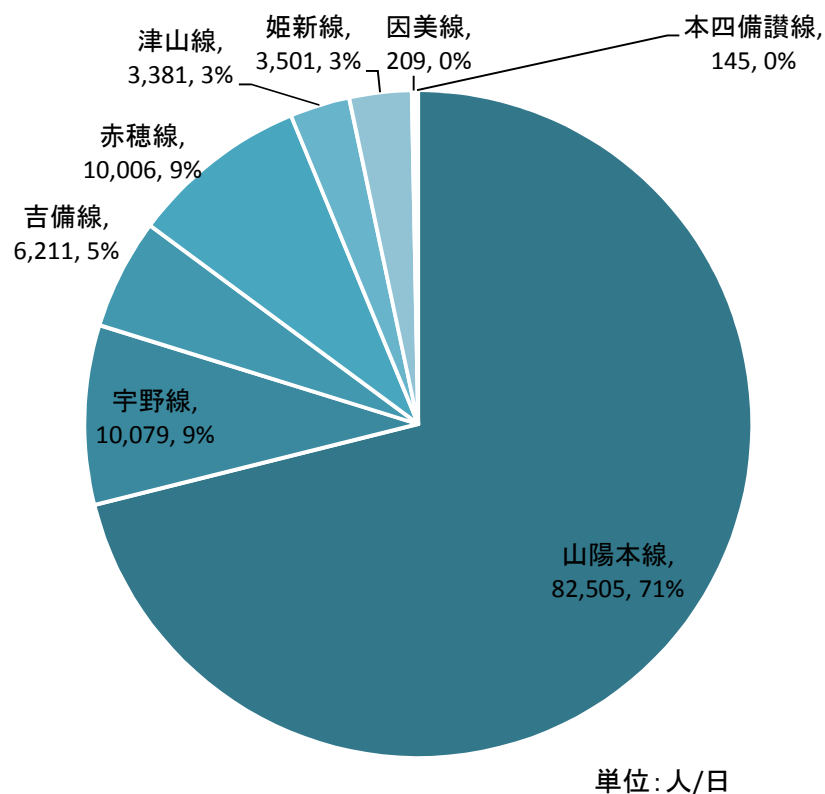
出所: 岡山県統計年報

(注) 2012・2013年度は岡山駅の新幹線利用者が把握できないため、この2カ年度の岡山駅の乗車人員については、全体の乗車人数から、2011年度の新幹線利用者を引くことによって数値を導いている。

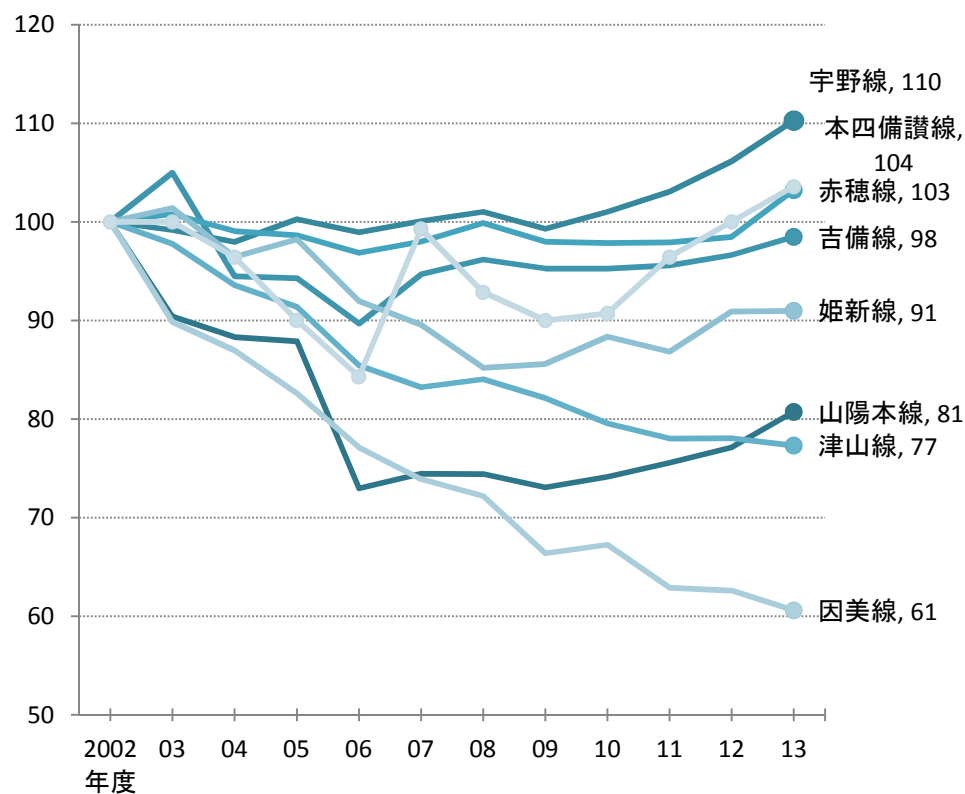
## I-2. 鉄道 【JRの利用状況】

- 岡山都市圏内のJR 8路線の利用状況は、山陽本線の利用者が全体の71%を占め、次いで宇野線（9%）、赤穂線（9%）、吉備線（5%）となっている。
- 近年の利用人員の増加は、高いシェアを有する山陽本線の利用人員が2006～2009年度を底にして、回復したことが大きく影響している。

□ 岡山都市圏のJR路線ごとの1日当たり利用人員



□ 岡山都市圏のJR路線ごとの利用者数の推移 (2002年度を100として指数化)



出所: 岡山県統計年報 (2013年度)

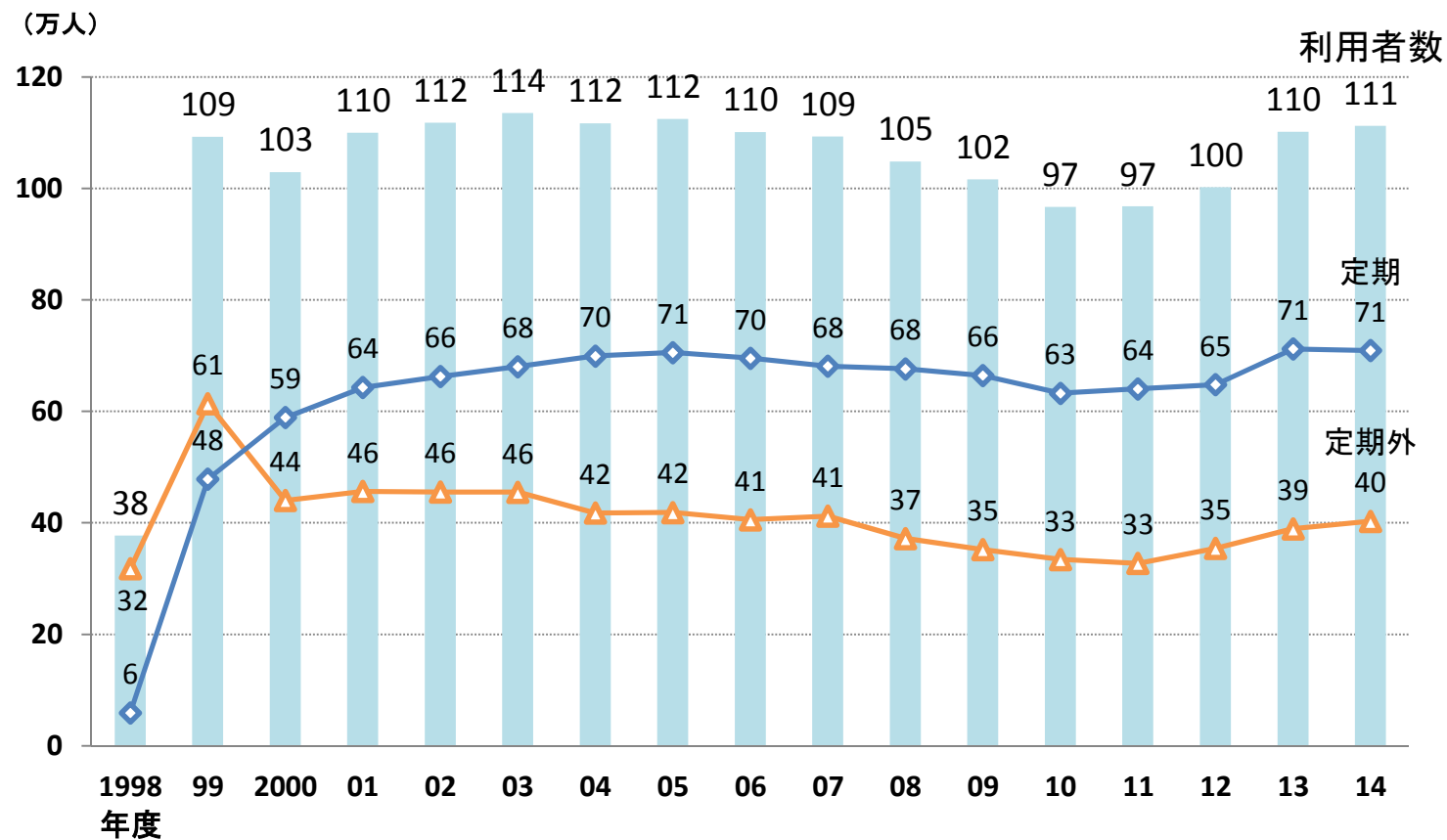
(注) 2012・2013年度は岡山駅の新幹線利用者が把握できないため、この2カ年度の岡山駅の乗車人員については、全体の乗車人数から、2011年度の新幹線利用者を引くことによって数値を導いている。なお岡山駅は山陽本線に含まれる。

## I - 2. 鉄道 【井原鉄道の利用状況】

- 井原鉄道（井原線）の年間利用者数は、2010・2011年度に100万人を切ったものの、2012年以降は100万人を超え、増加傾向にある。

（ただし、岡山都市圏内の総社・清音駅の利用者数については不明）

### □ 井原鉄道（井原線）の年間利用者数の推移

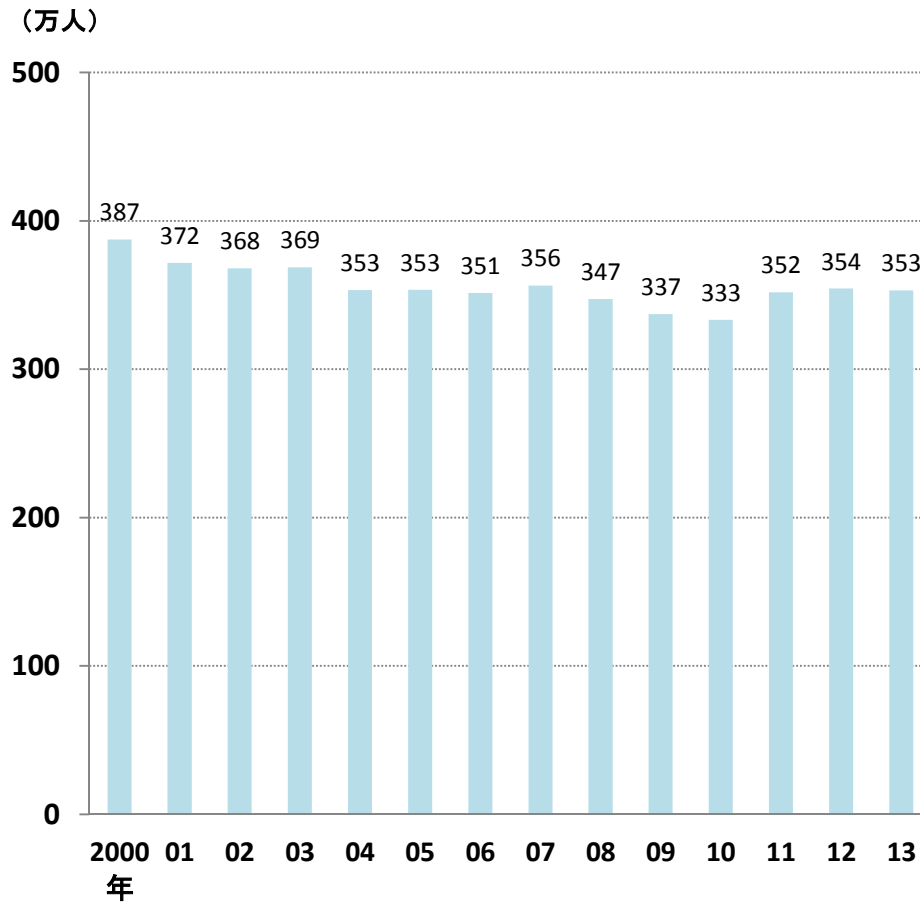




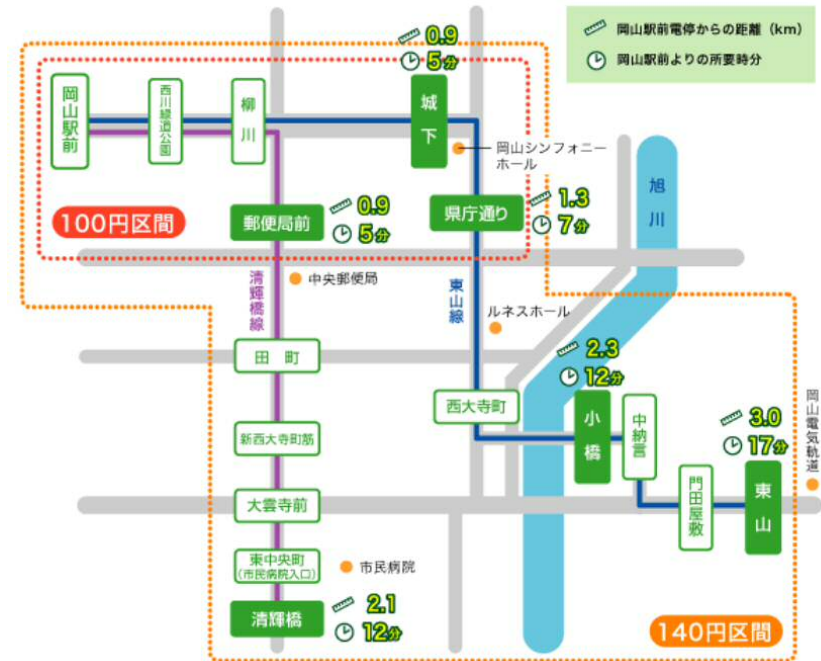
## I - 2. 鉄道 【鉄軌道：岡山電気軌道の利用状況】

- 岡山都市圏には鉄道路線に加え、岡山市内を走る路面電車（岡山電気鉄道（株）が運営する軌道）がある。この路面電車の年間利用者数は、年間約350万人前後で安定的に推移しており、岡山市中心部での重要な交通手段となっている。

### □ 岡山電気軌道の年間利用者数の推移



### □ 岡山電気軌道の路線図



## I - 3. 路線バス 【路線バス事業者の概要】

- 岡山都市圏では岡山市中心部や津山市中心部等をターミナルとして都市圏内各地に路線を有するバス事業者が9社あり、鉄道路線と並び重要な広域交通手段となっている。
- また、2012年から岡山市中心部を循環する「めぐりん」の運行も開始されている。

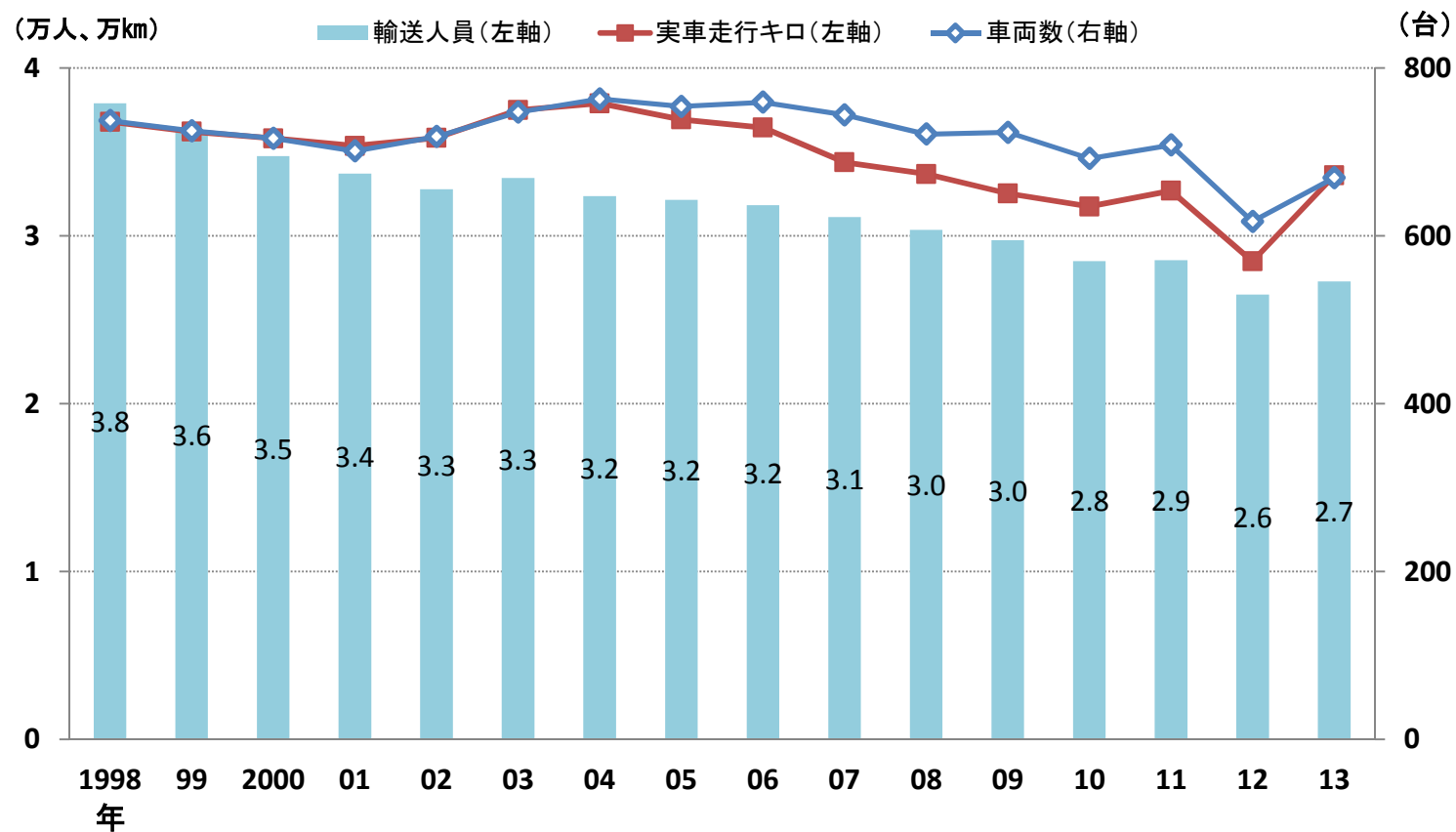
### □ 岡山都市圏における主要路線バス事業者と事業概要（事業者名アイウエオ順）

事業者名	事業概要
宇野自動車(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岡山駅・表町バスセンターをターミナルに、岡山市・瀬戸内市・備前市・赤磐市・美咲町等をつなぐ路線を運行している。</li> </ul>
岡山電気軌道(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岡山駅・天満屋バスステーションをターミナルとして、岡山駅近郊で、比較的短距離の4路線を運行し、住宅地・団地・大学・病院への輸送を担っている。</li> </ul>
下津井電鉄(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岡山駅・天満屋バスステーション・倉敷駅・茶屋町駅・児島駅をターミナルとして、岡山市・倉敷市を中心に運行している。</li> </ul>
中鉄バス(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岡山駅・天満屋バスステーションをターミナルに、岡山市・吉備中央町等を中心に運行。総社市にも路線を有する。</li> </ul>
中鉄北部バス(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 津山駅・中国勝山駅をターミナルに、津山市内を中心に運行している。</li> </ul>
東備バス(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西大寺バスセンター・西大寺駅・邑久駅をターミナルとして、岡山市・瀬戸内市を中心に運行している。</li> </ul>
八晃運輸(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岡山市内で市内循環バス「めぐりん」を運行している。</li> </ul>
備北バス(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高梁バスセンターを主なターミナルとして、岡山県北西部(高梁市・真庭市・新見市等)を運行エリアとして路線バスを運行している。</li> </ul>
両備ホールディングス(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岡山駅・天満屋バスセンター・西大寺バスセンター・JR宇野駅・JR倉敷駅、JR新倉敷駅等を主なターミナルとして、岡山市・倉敷市・玉野市とその周辺地域を結ぶ路線バス「両備バス」を運行している。</li> </ul>

## I - 3. 路線バス 【路線バスの利用状況】

- 岡山県全体での一般乗合旅客自動車（路線バス）の輸送人員は、長期的に減少傾向にある。2012年に岡山市内循環バス「めぐりん」の運行が始まったことを背景に、2013年は輸送人員・走行キロ・車両数すべてが持ち直しているものの、今後も路線バスを取り巻く環境は厳しい状況が続くものと思われる。  
（岡山都市圏に限定して路線バスの輸送人員を把握することはできない）

### □ 岡山県の一般乗合旅客自動車の運行状況の推移



## I - 4. 地域生活交通 【圏域内の導入状況①】

- 自治体が運行に関与する地域生活交通については、圏域北部を中心に導入が進んでいる。

### □ 地域生活交通の導入状況

市町	市町内循環バス	市町をまたぐ広域バス(運行市町)	デマンドタクシー
岡山市	<ul style="list-style-type: none"> <li>御津・建部コミュニティバス</li> <li>足守地区生活バス</li> </ul>		
津山市	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごんごバス</li> <li>市営阿波バス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あさひチェリーバス(美咲町)</li> <li>柵原星のふる里バス(美咲町)</li> <li>おおぞらバス(真庭市・鏡野町)</li> </ul>	
玉野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>シーバス</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>シータク</li> </ul>
総社市			<ul style="list-style-type: none"> <li>総社市新生活交通「雪舟くん」</li> </ul>
備前市	<ul style="list-style-type: none"> <li>備前市営バス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>圏域バス「ていじゅうろう」(赤穂市・上郡町)</li> </ul>	
赤磐市	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤磐市民バス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤磐市広域路線バス(2路線:美作市・美咲町及び和気町)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤磐市民バス</li> </ul>
真庭市	<ul style="list-style-type: none"> <li>まにわくん</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まにわくん(新庄村・倉吉市)</li> <li>旭川さくらバス(美咲町)</li> <li>おおぞらバス(津山市・鏡野町)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まにわくん</li> </ul>
和気町		<ul style="list-style-type: none"> <li>和気町福祉バス(赤磐市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>和気町デマンドタクシー</li> </ul>
早島町	<ul style="list-style-type: none"> <li>早島町コミュニティバス</li> </ul>		
久米南町	<ul style="list-style-type: none"> <li>久米南町町民バス</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>カッピーのりあい号</li> </ul>
美咲町	<ul style="list-style-type: none"> <li>CHUOかめっち。バス</li> <li>美咲町支所間バス</li> <li>中央地域福祉巡回バス</li> <li>旭地域福祉巡回バス</li> <li>柵原地域福祉巡回バス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旭川さくらバス(真庭市)</li> <li>あさひチェリーバス(津山市)</li> <li>柵原星のふる里バス(津山市)</li> </ul>	
吉備中央町	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉備中央町バス有償運行</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>デマンドタクシー</li> </ul>

出所:各市町提供情報及び各市町ウェブサイト

\* ここで「地域生活交通」とは、地域住民の交通の利便性向上を目的として、地方公共団体が何らかの形で運行に関与している交通機関で、デマンド型(利用者の要望に応じて柔軟な運行を行う交通形態)や路線型のバスやタクシーなどを指す

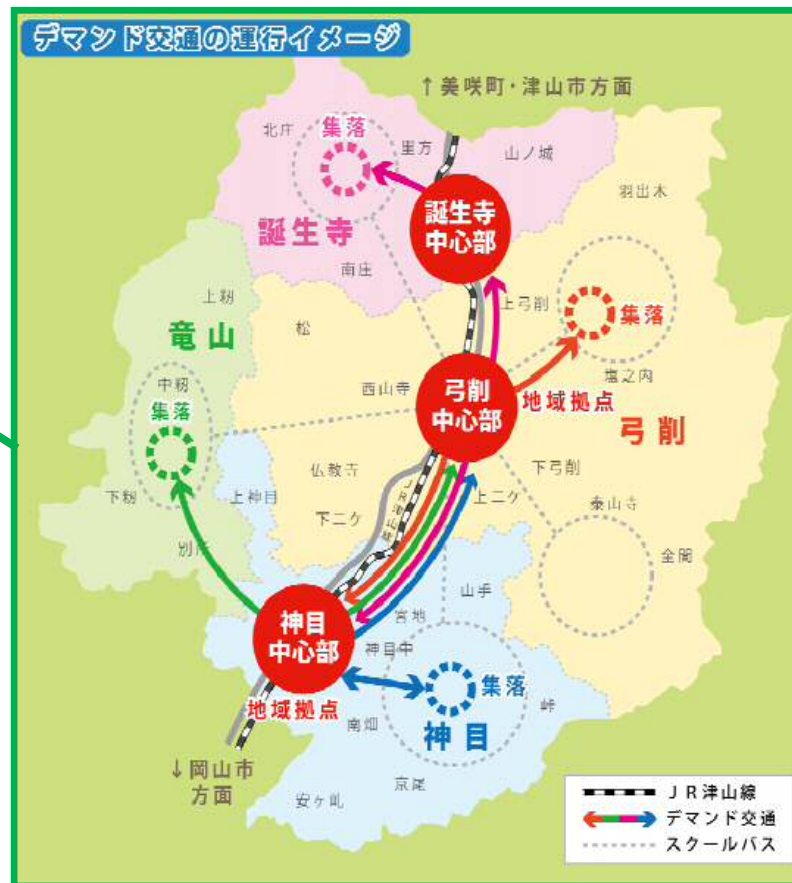
## I - 4 . 地域生活交通 【圏域内の導入状況②】

- 久米南町の一部の住民は、岡山市北区建部地域にある福渡病院に通院しているが、両市町を結ぶバス路線は存在しておらず、御津・建部地域及び久米南町では、それぞれの地域でコミュニティバスが導入されている状況である。
- 通院のアクセス性向上や、公共施設の利活用増進のための方策として、市町域を跨ぐ公共交通ネットワークを形成することが考えられるが、地域住民のニーズ（需要）の把握や、既存の交通事業者の理解（タクシーを含む既存の公共交通とのすみ分け）等が必要と考えられる。

□ 御津・建部コミュニティバス路線図  
(岡山市北区御津・建部地域)



□ 久米南町民バス路線図 (久米南町)



# 目次

---

Contents	Page
I 岡山都市圏の交通概況	1
1. 自動車	2
2. 鉄道	4
3. 路線バス	9
4. 地域生活交通	11
II 岡山都市圏住民アンケート調査概要（公共交通）	13
1. アンケート調査の概要	14
2. 交通手段の利用状況	15
3. 路線バスについて	16
4. 地域生活交通について	18

## Ⅱ-1. アンケート調査の概要

- 岡山都市圏住民アンケートは、住民の日常の生活圏域と今後の地域づくりのための必要な取組を把握することを目的に実施した。全6,000通の調査票を発送し、回収数は3,238通（回収率54.2%。有効発送数ベース）である。
- 本項ではこのアンケート調査から生活交通の利用に関するものを抜粋し記載する。

### □ 岡山都市圏住民アンケート概要

項目	内容
調査目的	①岡山都市圏内の住民の日常の生活圏域の把握 ②今後の地域づくりのために必要な取組の把握
調査対象	岡山都市圏内住民
データ数	○サンプル数 6,000票(有効発送数5,977票) ○有効回答数 3,238票(回収率54.2%)
調査時点	2015年10月21日～11月10日(本報告書掲載の有効回答数、回収率は11月30日までの回収分を反映)
標本抽出	岡山都市圏内の市町の20歳～70歳代の住民を無作為抽出(市町の人口規模に応じ、発送数を按分)
調査方法	自記入式アンケート調査票を郵送により配布・回収
調査事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性別、年齢、居住地、家族構成、職業、運転免許の有無</li> </ul> </li> <li>● アンケート事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常生活の生活圏域～日常の生活で利用する施設の場所・交通手段・所要時間、居住地の満足度</li> <li>・ 地域づくりに必要な取組～優先的に取り組むべき事項、市町村の連携についての意識、連携して取り組むべき事項</li> </ul> </li> </ul>

### □ アンケート回収状況

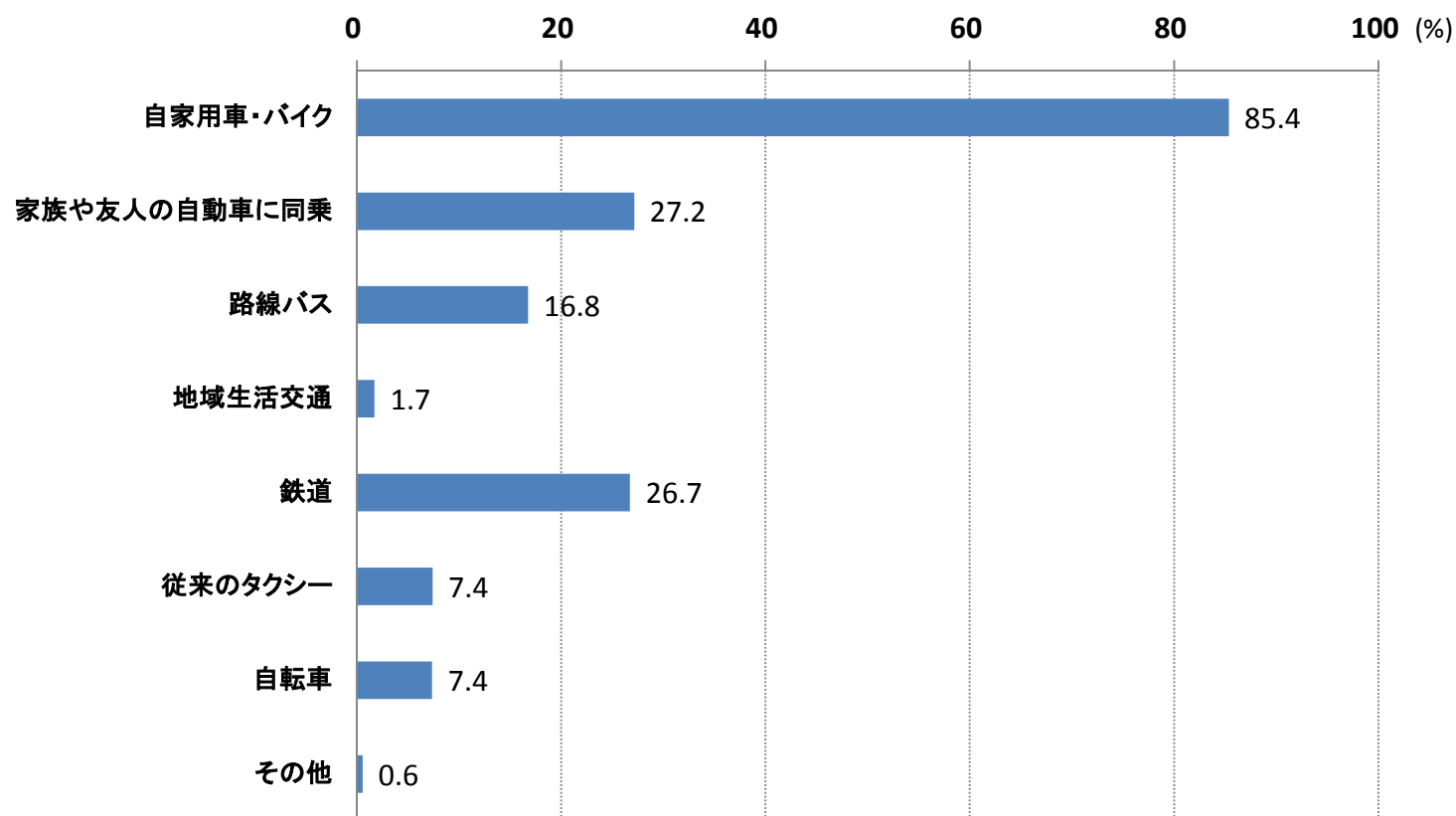
市町村	発送数(票)	回収数(票)	回収率(%)
岡山市	2,000	1,025	51.3
北区	-	413	-
中区	-	220	-
東区	-	164	-
南区	-	228	-
津山市	600	250	41.7
玉野市	400	219	54.8
総社市	400	232	58.0
備前市	400	199	49.8
瀬戸内市	400	212	53.0
赤磐市	400	226	56.5
真庭市	400	234	58.5
和気町	200	119	59.5
早島町	200	110	55.0
久米南町	200	136	68.0
美咲町	200	109	54.5
吉備中央町	200	125	62.5
不明	-	42	-
合計	6,000 (有効発送数:5,977)	3,238	54.2 (有効発送数ベース)

出所:岡山都市圏住民アンケートより

## Ⅱ-2. 交通手段の利用状況 【近隣市町への交通手段】

- 岡山都市圏の住民が近隣市町へ移動する際の交通手段として利用するのは、「自家用車・バイク」が最も多く85.4%であった。次いで「家族や友人の自動車に同乗」（27.2%）、「鉄道」（26.7%）、「路線バス」（16.8%）と続いており、自動車社会のなかでも「鉄道」「路線バス」については一定の利用がなされていることがわかる。

### □ 近隣市町へ移動する際の交通手段



n=3133

出所: 岡山都市圏住民アンケートより(グラフ内のn値は不明を除く回答数を表している)

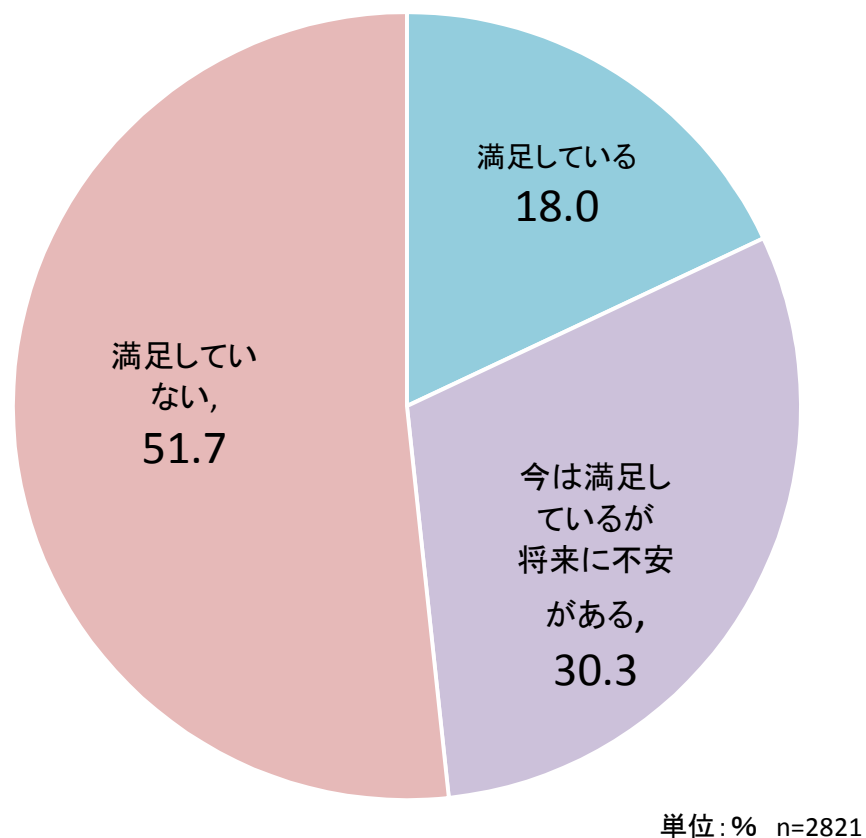
\* ここで「地域生活交通」とは、地域住民の交通の利便性向上を目的として、地方公共団体が何らかの形で運行に関与している交通機関で、デマンド型(利用者の要望に応じて柔軟な運行を行う交通形態)や路線型のバスやタクシーなどを指す。



## Ⅱ-3. 路線バスについて 【路線バスの満足度】

- 岡山都市圏の住民の路線バスへの満足度は「満足している」が18.0%、「今は満足しているが、将来に不安がある」が30.3%、「満足していない」が51.7%と、8割以上の回答者が路線バスに満足していないか、路線バスの将来に対する不安を表した。
- 将来の不安としては「運行本数の減少」「運行経路の変更・減少」というバス路線に関するものと、「自動車を運転しなくなった場合などの駅・バス停までの交通手段」という高齢化に伴う交通手段の変化に関するものが挙げられている。
- また、路線バスに満足していない理由は、満足している理由の裏返しとなり「駅・バス停が遠い」「目的地まで時間がかかる」「乗り継ぎの時刻が合わない」という回答が多い結果となっている。

### □ 路線バスの満足度とその理由



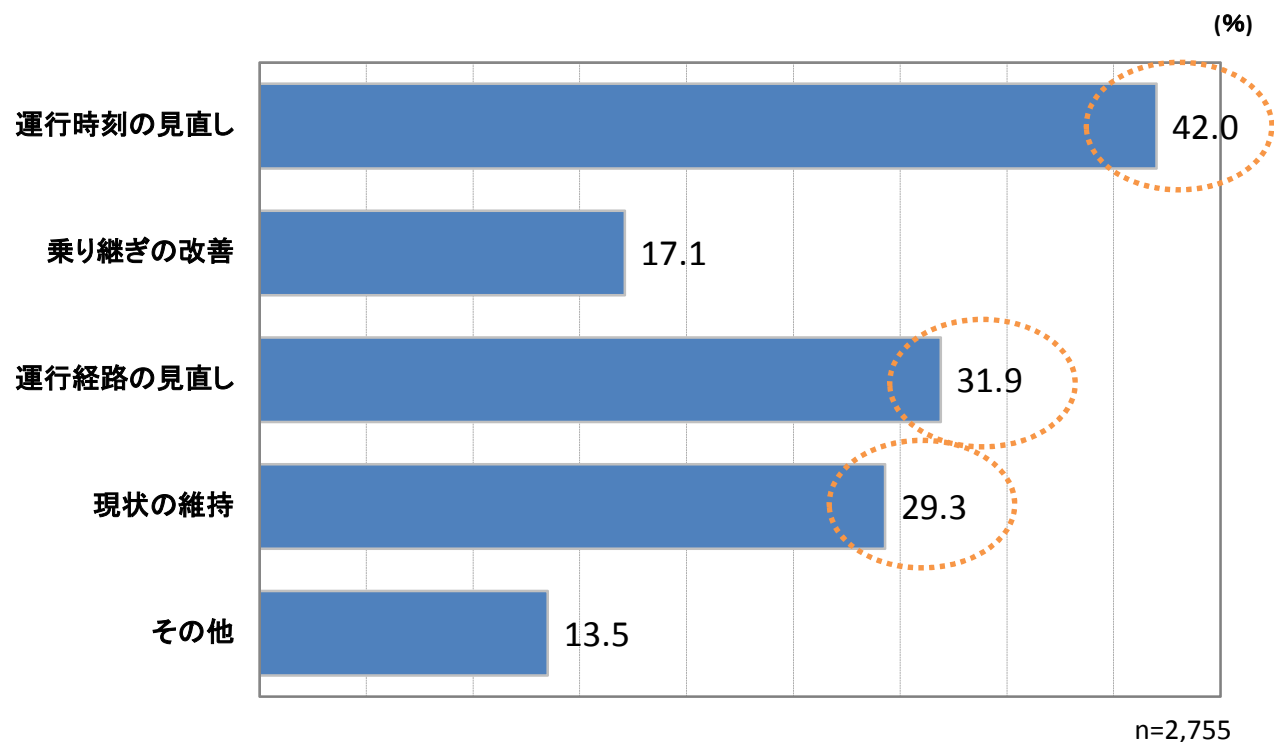
満足している理由(n=504)		
1位	バス停が近くにある	78.4%
2位	運行本数が多い	26.8%
3位	運行経路が良い (目的地に行ける)	23.6%
将来に不安がある理由(n=837)		
1位	運行本数の減少	64.9%
2位	自動車を運転しなくなった場合などの駅・バス停までの交通手段	54.6%
3位	運行経路の変更・減少	31.2%
満足していない理由(n=1432)		
1位	駅・バス停が遠い	42.2%
2位	目的地まで時間がかかる	30.6%
3位	乗り継ぎの時刻が合わない	27.5%

出所:岡山都市圏住民アンケートより(グラフ内のn値は不明を除く回答数を表している)

## Ⅱ-3. 路線バスについて 【今後の路線バスに望むこと】

- 岡山都市圏の住民が今後最寄りの路線バスに希望するものとして、最も比率が高かったのが「運行時刻の見直し」42.0%であった。次いで「運行経路の見直し」(31.9%)、「現状の維持」(29.3%)と続いている。

### □ 今後の路線バスに望むこと

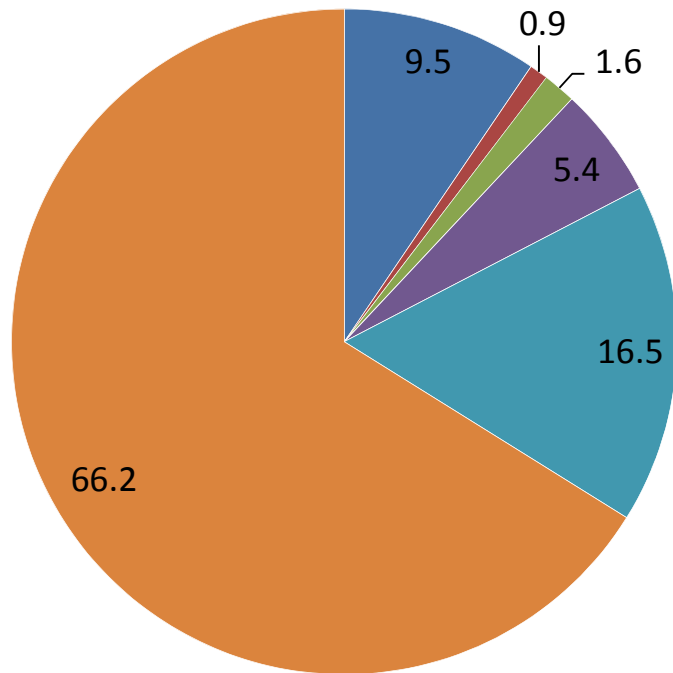


## Ⅱ-4. 地域生活交通について 【地域生活交通の利用状況】

- 地域生活交通の利用については66.2%が「利用しない」と回答しており、「1週間に4日以上」「1週間に1～3回程度」「1か月に1～3回程度」として日常的に利用頻度の高い人の割合は7.9%と低い割合となっている。
- 域生活交通を利用する理由として最も比率が高かったのが「自宅・目的地の近くにバス停があり便利」（45.5%）であった。次いで「徒歩や自転車で行くには遠い」（43.8%）、「自動車がない、免許がない」及び「自動車で送ってくれる人がいない」が30.5%と続いている。

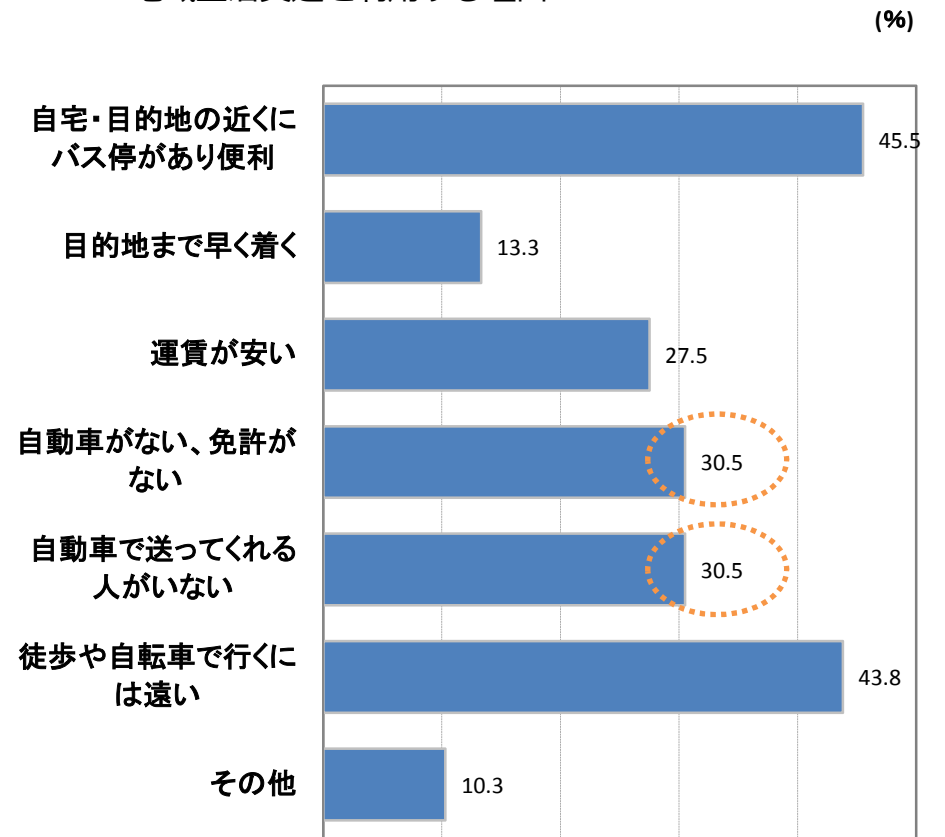
□ 地域生活交通の利用状況

- 地域に導入されていない
- 1週間に4日以上
- 1週間に1～3回程度
- 1か月に1～3回程度
- 1年に数回
- 利用しない



単位：% n=3139

□ 地域生活交通を利用する理由

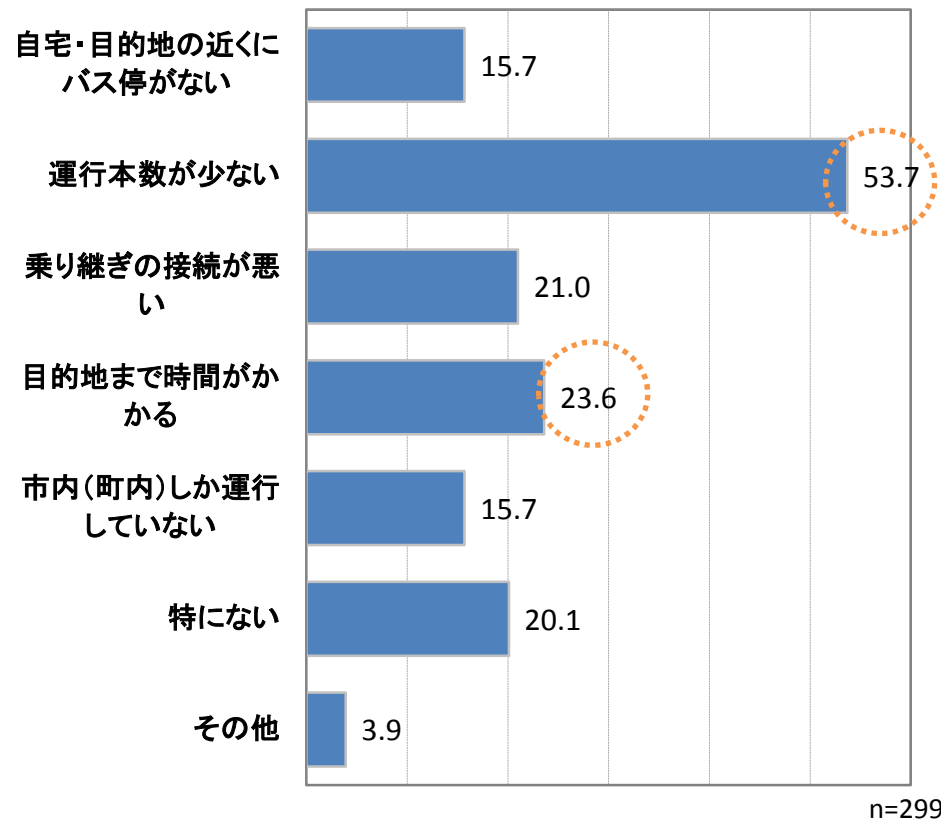


n=233

## Ⅱ-4. 地域生活交通について 【今後の地域生活交通に望むこと】

- 地域生活交通の不便な点として最も割合が高かったのが「運行本数が少ない」（53.7%）であった。次いで「目的地まで時間がかかる」（23.6%）、「乗り継ぎの接続が悪い」（21.0%）と続いている。
- 地域生活交通について希望することで最も割合が高かったのが「運行日・運行時刻の見直し」で46.0%であった。次いで「運行経路の見直し」（24.7%）、「現状の維持」（22.1%）と続いており、最も割合が小さかったのは「近くに駅や路線バスのバス停があり必要ではない」で4.3%であった。

□ 地域生活交通の不便な点



(%) □ 地域生活交通に希望すること

